

初開催 ピアサポート団体全国交流会

ごちゃまぜ ぴあ交流会

2026

～立場を超えて出会う～

生きてきた道のりの中で抱えてきた「心のぽっかり」や葛藤。背景は違っても、
私たちは誰もが安心して過ごせる場をつくろうと歩んできた仲間です。

障害のある当事者やその子ども・きょうだい、ヤングケアラー、
社会的養護経験者など、分野を超えた全国のピアサポート団体運営者が初集結。

「生きづらさ・葛藤」を共通言語に語り合い、つながる。

そして、リアルな声を「社会を優しく変える力」へと育てていく一歩を
一緒にはじめてみませんか？

プログラム

- 11:00～ オープニング・趣旨説明
- 11:15～ 基調講演:「つながり続けることが癒やしになる」(通訳あり)
講師:Cynthia L. Whiteさん(MAE)&Hiro Itoさん(MSW)
- 12:30～ 実践報告:多様なピアサポート活動
- 13:15～ 交流ランチタイム(参加団体のトークライブを予定。※軽食をご用意します)
- 14:15～ クラフト&ダイアログ
- 15:45～ ネットワークのご紹介(地域精神保健福祉機構・コンボ)
- 15:55～ クロージング

クラフト&ダイアログ

ハワイの素材を使ったクラフトを行いながら、日常の「心のぽっかり」や「ほっとする瞬間」、これからのことをリラックスして語り合います。



講師プロフィール

Cynthia L. White(シンシア・ホワイト)さん
Kids Hurt Too Hawaii創始者、グリーフケア専門家

40年以上にわたり、死別・喪失体験やトラウマを抱える子どものケアに取り組み。米国オレゴン州・ダギーセンターでトレーニングディレクターを務めた後、「Kids Hurt Too Hawaii」を創設。「グリーフは治療ではなく、つながりの中で癒やされるもの」という理念のもと、当事者同士が支え合うピアサポートプログラムの開発と実践を牽引してきた。

Hiro Ito(伊藤 ヒロ)さん
Kids Hurt Too Hawaii共同創始者、グリーフケア専門家

ハワイで、親との死別・離別、家庭内暴力、養護施設で育つなど、さまざまな喪失感を抱える子どもたちを支援するNPO「Kids Hurt Too Hawaii」を設立。子どものケアに取り組み。阪神淡路大震災、東日本大震災後は被災地をたびたび訪れ、各所で講演やケア活動を実施してきた。

2026 11/1(日) 11:00～16:00

朝日新聞東京本社会議室(東京都中央区築地)

- 対象:全国でピアサポート活動(当事者会、語り合いの場、居場所づくりなど)を行っているグループのコアメンバー・運営者
- 定員:約20団体(事前申込制・先着順)

参加費無料

交通費補助あり(1団体1人)

詳細・お申し込みは
こちらから

